

エミリーの

見て歩き

No. 5

「Mother Nature を大切に・・・」

自然のたくましさ、伸びやかさを実感する季節がやってきました。町の人々も田植え、お茶摘み、苗の植え付けなど、皆は誇らしげに生き生きと頑張っているようです。

さて、この前、兄と弟が愛媛に来た時、四国カルストに連れて行きました。そこに風を受けた雄大に回る風車を見ると、私たちはたいへん興味を持ちました。私にとってこの風力発電所建設の一番魅力あるところは環境にやさしいエコロジー活動ができることです。そして、自分で電力が作れる自立的な生活ができることにも魅力を感じます。

自然と共存する事が人間の夢の一つであると言ったら、びっくりはしないでしょう。鬼北町も自然に囲まれていて、何処を見ても緑がいっぱいの町です。今年開催された愛知万博は「自然の叡智」をテーマとして開かれて、外国から観光客を迎えますが、人間と自然の関係は複雑だと思います。

自然といえば、山、紅葉、滝、海、夕日、等々のイメージがあります。カナダの自然で有名なのは秋の紅葉、

オーロラ、そして夏の湖です。一方、日本の自然で有名なのは春の桜、琵琶湖、そして富士山の美しさです。この二つの国では、自然の力を借りて国のイメージにしているところがあるようです。どの国でもイメージすればするほど、この世界が美しくなると思います。

英語でMother Natureという表現があります。それは文字どおり、自然というのが、地球の母だという概念です。人間が借りているイメージは、マザー・ネーチャーの晴天の日、つまり機嫌の良い日ばかりですが、機嫌の悪い日もあります。

この二年間日本では、地震や台風がたくさんありました。台風も地震もカナダには少ないのですが、去年、西カナダで山火事がありました。多くの人々は一週間半も避難して無事に自宅へ帰りましたが、日本での台風のように、その時も機嫌の悪いマザー・ネーチャーに怒られている気がします。自然の力を再発見し、自然のことをさらに尊敬するようになりました。この厳しい生態系に生きている人間として、いかにマザー・ネーチャーを裏切ることには許されていないかが解りました。しかし、地球温暖化現象や異常気象などの原因は人間だと思えます。

もしこの地球を保護し自然と共存したいならば、まずマザー・ネーチャーと仲良くすることです。カナダでは、自然というのは一番大切な「資源」だと考えています。材木や金属の輸出で栄えてきましたが、今の傾向は大自然をそのまま守って、それを見に来る観光客を輸入することです。つまり、いい経済効果をもたらさない限り、自然の叡智は無視するようです。愛知万博も旅業の目からマザー・ネーチャーと向き合って行きながら、観光客などの地球環境問題への関心のきっかけになればと考えます。地球を守るために、私自身も割り箸や過剰包装を断ることからエコロジー活動を取り組みしていきたいと思えます。



「英会話教室」と「中国文化講座」 開催のお知らせ（6月分）

開催予定月日	教室のテーマ	内 容
6月7日(火) 19:00～21:00	英会話教室 —豆知識新聞読み	英語の話題新聞を読んで、ディスカッションしましょう！
6月14日(火) 19:00～21:00	中国文化講座 —台湾グルメ教室	簡単な台湾料理に挑戦！ジャージャー麺を作って、試食しながら、台湾の屋台文化について知りましょう！
6月21日(火) 19:00～21:00	英会話教室 —カラオケ大会	人気の英語の歌を聞きながら、聞き取り能力を高めましょう！

場 所 鬼北町中央公民館 2階視聴覚室
講 師 鬼北町国際交流員 エミリー・ウー
対 象 中学生以上

参加申込 平成17年 6月 6日(月)

参加費 無料。ただし、6月14日の台湾グルメ教室は、材料費がかかりますので、1人につき¥500程度実費徴収します。(当日徴収)

問合せ先 鬼北町役場 学校教育課 ☎45-1111 (内線416)